

平成 29 年 7 月 19 日
愛 媛 大 学

ロシア初の試み！ 南シベリアで古代製鉄復元実験を実施

愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センターの村上恭通センター長が、南シベリア（トゥバ共和国・ハカス共和国）において、初期製鉄遺跡の発掘調査と踏査を実施しました。

現地考古学者との合同で実施された古代製鉄復元実験は、ロシアで初めての試みであり、南シベリアにおける製鉄技術の特性とアルタイ地方を經由した製鉄技術の伝播の解明につながりました。

この結果は、ロシア最大級の学会であるロシア地理学協会のホームページに掲載され、地元放送局・エニセイ放送局（クラスノヤルスク所在）のニュースでも取り上げられました。

つきましては、是非取材くださいますようお願いいたします。

記

調査者：愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センターセンター長 村上 恭通

調査期間：平成 29 年 6 月 21 日から 7 月 6 日まで

ロシア地理学協会 HP：<https://www.rgo.ru/ru/article/po-sledam-drevnih-masterov>

本件に関する問い合わせ先

愛媛大学研究支援部

研究支援課研究支援チーム

TEL: 089-927-8166 Fax: 089-927-8905

E-mail: kenshi@stu.ehime-u.ac.jp